

死亡事故が連続する新4号国道小山市^{たま}田間の 緊急事故対策の取り組みをお知らせします。

—記者発表資料—

平成18年4月以降、9月までの6ヶ月で3件の死亡事故が発生している、新4号国道の小山市田間交差点及び周辺部について、安全性向上箇所を選定し、緊急事故対策を実施します。

今年度4月～9月の半年間のうち、7月から8月にかけての短期間で
死亡事故が3件発生！

7月4日 大型貨物トラックに普通貨物トラックが追突(午前6:05)

7月6日 普通貨物トラック同士が追突(午後3:38)

8月7日 普通自動二輪が中央分離帯に衝突転倒(午前1:50)

国土交通省と警察署で事故現地診断を実施(平成18年7月7日、8月8日)しました。診断の結果を踏まえ、下記の対策(資料1)を実施することにより事故防止を目指します。

～対策の効果～

- | | |
|-----------------------|--------------|
| ①路面標示「追突注意」とドットラインの設置 | 《注意喚起》 |
| ②路面に薄層舗装の施工 | 《速度抑制》 |
| ③LED看板の設置 | 《交差点の事前予告》 |
| ④自発光式道路紙の設置 | 《悪天候時の視認性向上》 |
| ⑤車線分離標(ポストコーン)の設置 | 《視線誘導効果》 |

今後の取り組み

対策後の状況を把握、効果を検証します(PDCAサイクルの実践)。

平成18年10月25日(水)

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

栃木県 小山警察署

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所
TEL 028-638-2181(代表)

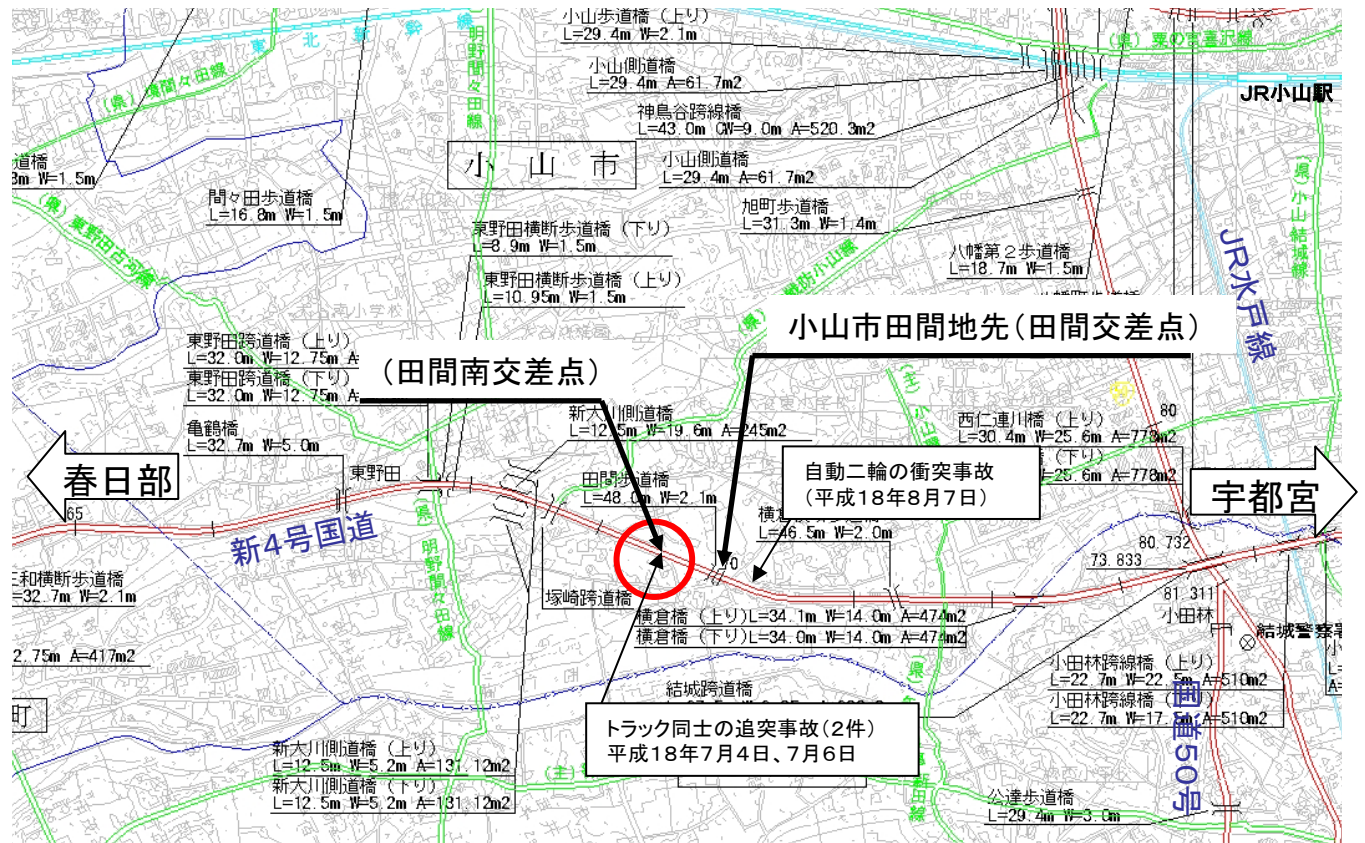
副 所 長 ^{とぐら けんじ} 戸倉 健司 (内線204)

管理第二課長 ^{きくち かずみ} 菊地 一美 (内線441)

栃木県 小山警察署
TEL 0285-25-0110(代表)

交通総務課長 ^{さと うきみひこ} 佐藤 公彦 (内線410)

1. 位置図



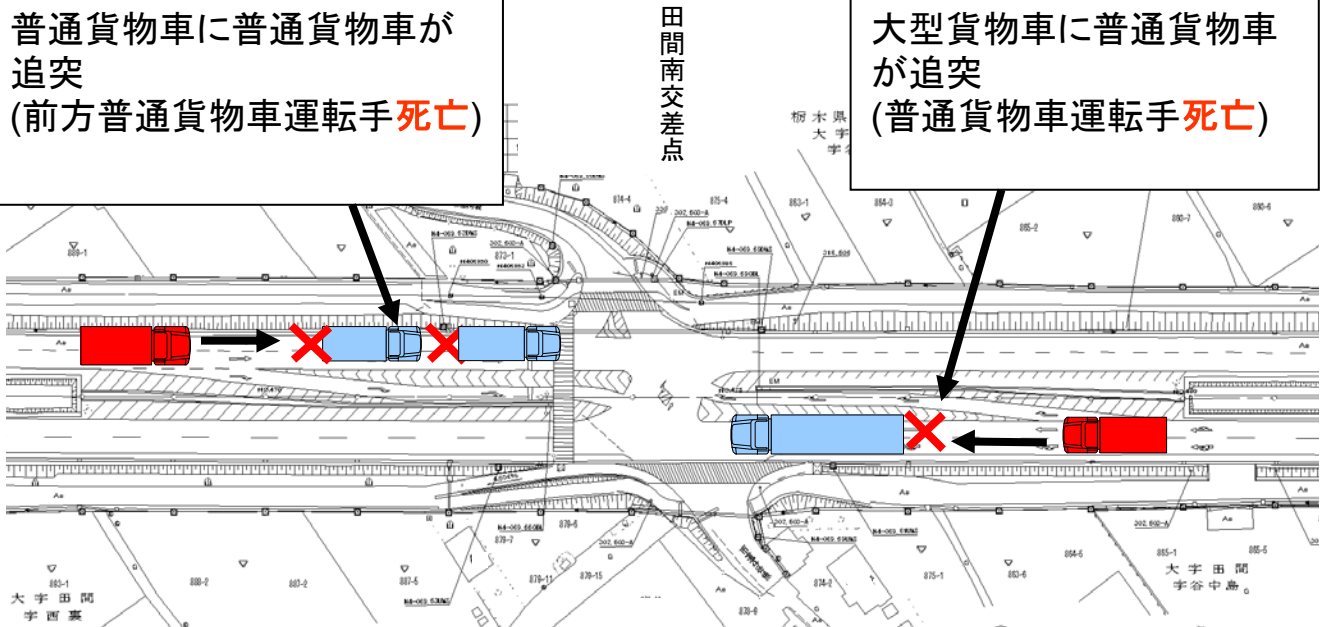
2. 事故状況図(上図の円内)

H18.7.6 PM3:38

普通貨物車に普通貨物車が
追突
(前方普通貨物車運転手**死亡**)

H18.7.4 AM6:05

大型貨物車に普通貨物車が
追突
(普通貨物車運転手**死亡**)



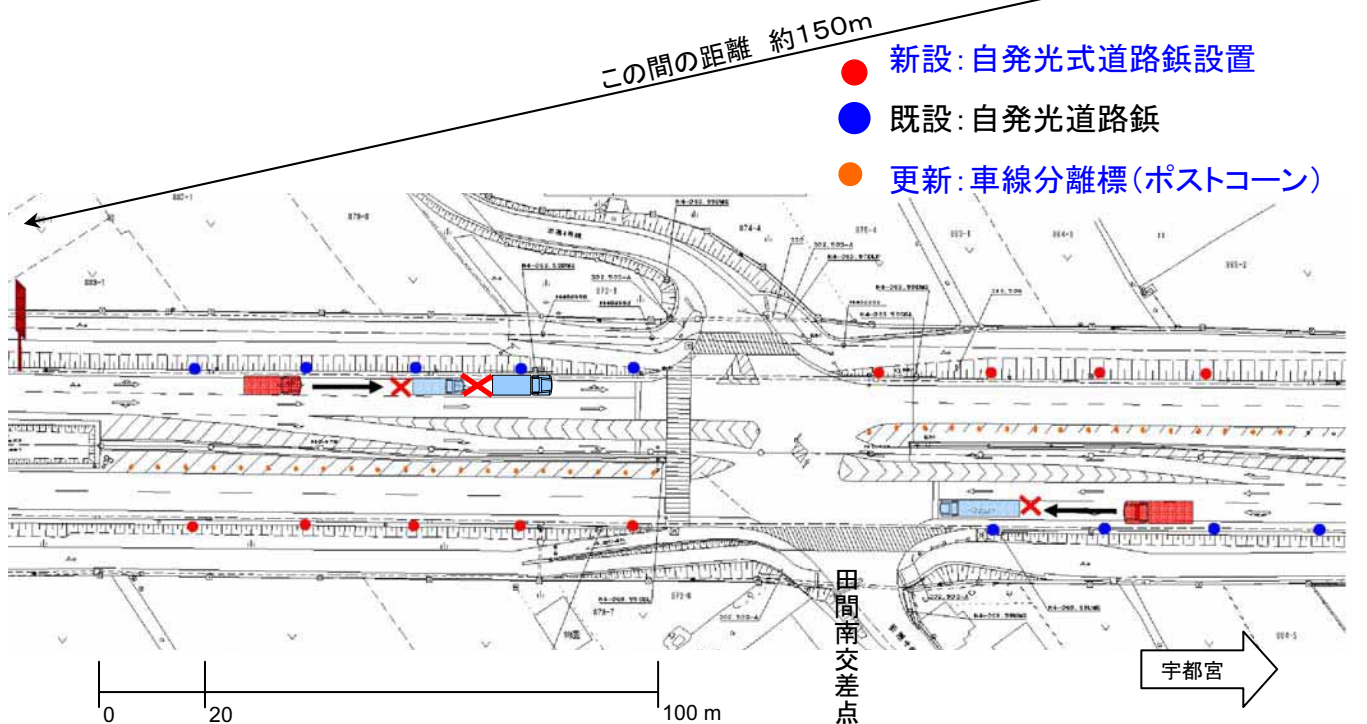
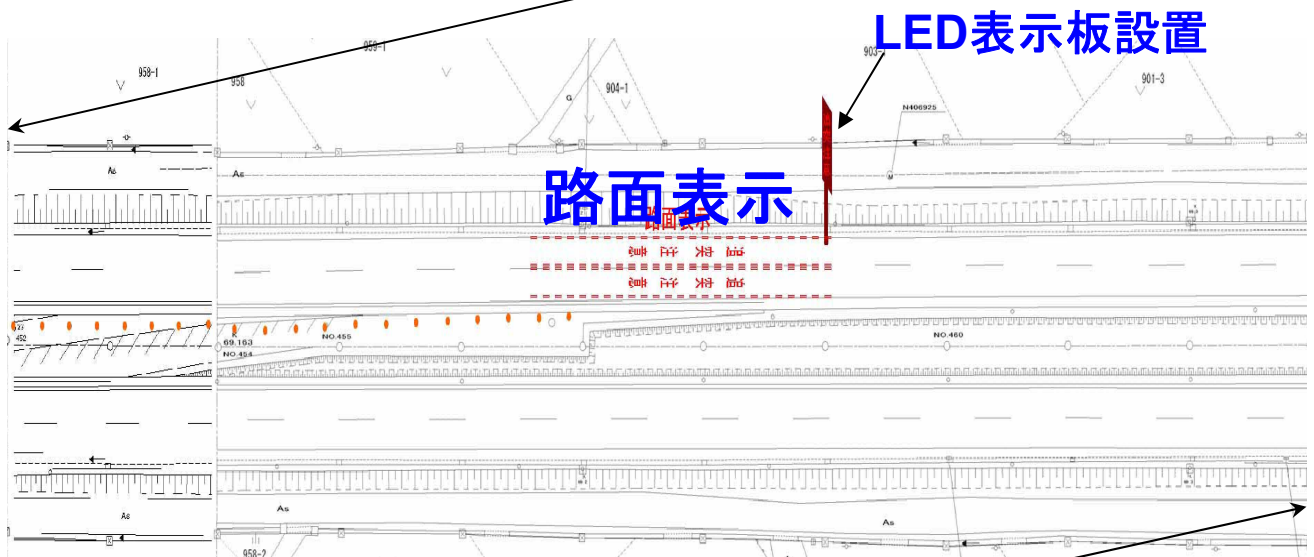
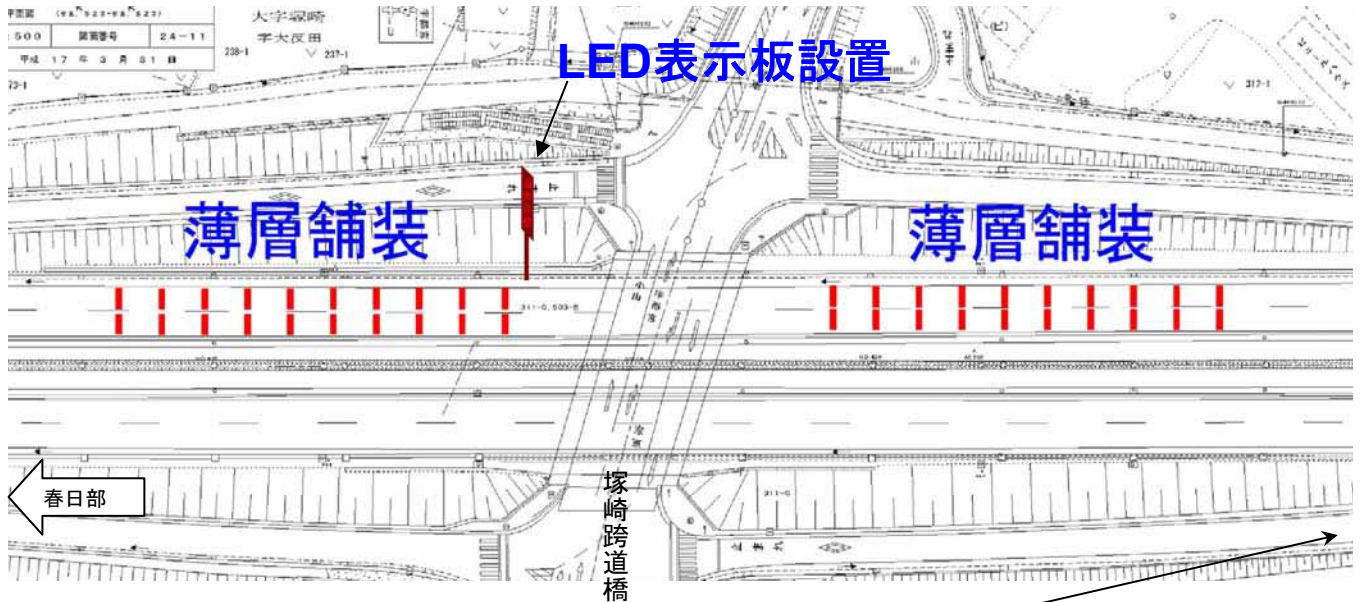
安全性向上箇所選定の視点

重大事故が多発する箇所(4年で2件以上の死亡事故)に該当。



安全見える化プランの**要対策箇所**と同様の
早急な事故対策が必要。

3. 事故対策計画図（代表箇所）



事故対策一覧

(資料1)

	①	②	③	④	⑤
対策	路面表示 (追突注意・ドットライン)	薄層舗装	LED看板	自発光式道路鋏	車線分離標 (ポストコーン)
目的 (効果)	・走行車両の速度抑制 ・ドライバーの注意を促す ・狭隘感による適度な緊張感	・視覚的・体感による速度抑制 ・色彩変化、狭隘感による適度な緊張感	・交差点の事前予告 ・走行車両の速度抑制 ・薄層舗装、路面表示の相乗的効果	・交差点の明確化 ・注意喚起の向上 ・悪天候時の視認性向上	・中央分離帯、ゼブラゾーンの視線誘導効果向上
設置箇所	・交差点滞留部前・交差点停止線から110m、220m手前に1箇所ずつ ・下り塚崎～田間南はさらに交差点から330mに1箇所	・下り 塚崎跨道橋付近 ・上り 田間交差点手前	・薄層舗装、路面表示設置箇所と同様の箇所	・交差点前後	・既設設置箇所 80本
設置個数 設置形態	・田間南交差点 上り3箇所 下り2箇所 ・田間交差点 上り1箇所 下り1箇所 計7箇所	・上り 1箇所 ・下り 1箇所 計2箇所	・田間南交差点 上り2基 下り4基 ・田間交差点 上り2基 計8基	・田間南交差点 上下線各進入前5箇所 進入後5箇所 ・田間交差点 上下線各進入前5箇所 進入後5箇所 (1箇所当り3m間隔 3個) ・計40箇所 120個 (交差点進入部は設置済み)	・既設設置箇所 ・本体オレンジ色 ・3段カプセルレンズ反射体 ・80本
設置時期	・10月下旬～実施	・10月下旬～実施	・11月中旬	・10月下旬～実施	・10月下旬～実施